

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

地元の海の恵みを子ども達に味わって欲しくて...



大宜味海人会より子ども達へアオサ贈呈

5月27日（水）、大宜味海人会（照屋和信会長）が村長室に訪れ、大宜味の子どもたちに食してほしいとおおぎみこども園と給食センターにアオサ（冷凍 44kg）を寄贈しました。

羽地漁業協同組合に所属している大宜味海人は、名護市屋我地でアオサの養殖に取り組み、年間6 tほど収穫しています。収穫したアオサは村に新しくできた施設で洗浄され、冷凍しています。

大宜味海人会の小濱紀子さんは「9月半ばから養殖が始まり、1月後半から5月半ばに収穫を行っている。手摘みで収穫しているため滑らかでシルクみたいな舌触り。絹アサとも言われている。ぜひ大宜味の子ども達に味わってもらい、アサを生産していることや海人の頑張りを知ってもらえたら嬉しい」と話し、米須邦雄教育長は「まさに地産地消を表している。食育だけでなく地域の食材を知ることもでき2重、3重の教育効果となり、非常にありがたい」と喜びました。

天ぷらや汁物など様々な料理に使うことができるアオサ。こども園の昼食やおやつ、学校の給食で振る舞われます。地元のおいしい食材をぜひ味わってください。

災害が起きた時のため、避難の心構えを確認 大宜味小学校避難訓練

6月18日（木）、大宜味小学校で避難訓練が行われました。

今回の訓練の目的は避難の仕方の確認と避難道を知ること。ぶながや広場（学校玄関前）に集合した児童たちはおかしもちの確認と避難訓練の約束事を確認した後、国道を挟んで向かいにある避難階段へ避難を開始しました。避難階段は素早く高い位置に行ける階段で一気に標高34mまで上がれます。



訓練を終え、新垣郁代校長先生は「今回の訓練はとてもよくできたと思う。6年生が1年生を励ましながら階段を上っていたのも良かった。大きな地震や津波が沖縄にも来ることもある。地震はいつくるかわからない。学校にいる時かもしれないし、放課後遊んでいる時かもしれない。本当に来た時に慌てないための訓練です。備えあれば憂いなし。一人一人が今回真剣にできたか良く考えてほしい」と話しました。

地震や津波はいつ来るかわかりません。いつでもどんなところにおいても自分の身を守れるよう、今回の訓練で学んだことを復習してください。

「おはしもち」を守って静かに避難 おおぎみこども園避難訓練

6月18日（木）、おおぎみこども園で避難訓練が行われました。

こども園では毎月避難訓練を行っており、先月の訓練では非常ベルが鳴ったら、怖がらずに先生の話をよく聞いて避難するということを教わっている子どもたち。

今回は園内で火災が起こったことを想定して、「おはしもち（おさない・はしらない・しずかに・もどらない・ちかづかない）」の約束を守り、各教室から園庭まで避難することを目的に行いました。



非常ベルが鳴っても驚いて泣くこともなく先生のお話を聞く子どもたち。ハンカチや手で口を覆ったりお友達と手を繋いでほぐれないようにしたりしながら静かに園庭まで避難しました。園長先生の話も最後まで聞き、教室に戻るまで静かにすることができました。

今回の訓練で全員が園庭に集合するまでかかった時間は2分50秒!! 子どもたちの頑張りとともに先生たちの連携のとれた組織的な動きもあってのことだと思います。

火災だけでなく、防犯や地震などあらゆる災害を想定して行われる避難訓練。非常時に自分の身を守る行動ができるよう訓練を重ねていきたいと思ひます。



頑張る子ども達に役立てて…名幸光芳さん、消毒用アルコールを寄贈

6月17日（水）、名幸光芳さん（今帰仁村）より大宜味村教育委員会に期間限定で製造されている76%アルコール（消毒用アルコール）が贈呈されました。

名幸さんは大宜味中学校の総合の授業の中でシークワサーを使った商品開発で講師を務めてくれ、「シークワサー酢SKS+S」、「いぎみだし」の商品開発の際には生徒たちと一緒に頭を悩ませ、素晴らしい商品を作り上げてくれました。

コロナ禍で生活環境が変わる中、大宜味の子供達のために活用してほしいと寄贈を申し出てくれました。

米須教育長は「なかなか消毒用のアルコールが手に入らない中での寄贈は大変助かる」と感謝しました。

消毒用アルコールは中学校に寄贈され、具志堅仁一校長先生は「総合の授業でもお世話になっている上に、このような寄贈は大変ありがたい。生徒達のため、日頃の学校の安全のために有効に使わせていただく」と喜びました。



一人一人の頑張りにおいしいパンで応援♪ 吉田春子先生からサプライズ

6月18日（水）、吉田春子先生（津波）より大宜味小学校、中学校の児童生徒、職員においしいパンのプレゼントがありました。

津波バス停前での毎朝見送り、あいさつ運動を行っている春子先生。だんだんと暑くなってきている中でもコロナウイルス予防のため、毎日しっかりマスクを付けて登校している子ども達に感銘を受け、頑張っている子ども達へ何かできないかと、5月に支給された特別給付金の一部を活用して、子ども達にサプライズのプレゼントをして



くれました。

小学校の新垣郁代校長先生は「嬉しい限り。頑張っている子ども達を見守ってくれているということがなおさら嬉しい。子ども達とこのパンを食べてさらに頑張っていきたい。ありがとうございます」と喜び、中学校の具志堅仁一校長先生は「県の中体連が中止になったり、地区の大会が延期になったりと悔しい思いをしている中でも生徒たち、先生たちは屈せずに頑張っている。このようなサプライズのプレゼントはとても励みになる。春子先生の激励に応えられるよう、頑張っていきたい」と話しました。

～教育委員会 会議だより～

大宜味村教育委員会では毎月第4木曜日に教育委員会会議を行い、教育に関する方針の決定、教育委員会規則の制定やその他重要な事項の決定を行っています。ただし、緊急の場合は臨時会を招集して審議を行います。教育委員会会議だよりでは、会議で決定した事項をお知らせして参ります。

第5回 教育委員会議 令和2年5月28日（木）午後2時開催

＜審議事項＞

議題22号 令和2年度大宜味村一般会計補正予算（第2号）について

今回の補正予算は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が主な補正であります。

こども園・小学校・中学校にマスク、消毒液、非接触型体温計の購入や要保護、準要保護者へ1万円の振興券の支給等を計画しております。その他、国の補助金を活用して児童生徒全員のタブレットの購入を予定しております。

ありがとうございます!! ふるさと薬局より消毒液寄贈



ふるさと薬局 原田秀樹先生より、大宜味村教育委員会に消毒用エタノール10Lの寄贈がありました。大宜味小・中学校、おおぎみこども園等で有効に活用したいと思います。ありがとうございました!!



青少年の深夜はいかい防止及び未成年者飲酒防止大宜味村民大会中止のお知らせ

7月14日（火）に開催を予定していましたが、「青少年の深夜はいかい防止及び未成年者飲酒防止大宜味村民大会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は開催中止と致します。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。 大宜味村青少年育成村民会議

図書室情報 No.11 2020年（令和2年）7月 大宜味村図書室（旧大宜味小学校2F：村史編纂係内） 大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009

- 利用状況累計
- 来室者数…のべ473人
- 貸出冊数…881冊
- 登録者数…61人

6月の統計（6/26まで）
○来室者数…のべ45人
○貸出冊数…85冊

NEW 新着図書（リクエスト本）

←Excel もあります

★現在の蔵書数…4690冊+県立図書館の本500冊

7月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



※来室の際は、マスクの着用、手指の消毒にご協力ください。

楽しく学ぶ姿に参観者も安心♪ 大宜味小・中学校授業参観



6月17日（水）～19日（金）、大宜味小・中学校で授業参観が行われました。

例年だと6月の日曜日に行われる授業参観ですが、今年はコロナウイルスの影響もあり、平日の3日間に自由参観ができる形となりました。

グループで調べたことを発表したり、友達同士で教え合ったり、元気いっぱい発言したり、友だちの発表をしっかりと聞いたり、どの学年も進んで楽しく学んでいました。

学校が再開して1か月あまりですが、例年とは違う状況下の中でも、先生方は授業のスタイルを工夫したり、児童、生徒たちも新しい生活に慣れようと一人一人が頑張っている姿が見られた授業参観となりました。



よりよい学びのために… 学校計画訪問

6月22日、24日、25日の3日間、大宜味中学校、小学校、おおぎみこども園、給食センターの学校計画訪問が行われました。

学校計画訪問は教育委員と教育委員会職員が学校を訪れ、授業を参観および学校の状況や要望の聞き取りを行い、今後どのようにしたら子どもたちや職員が生活、仕事をしやすい環境を作れるか意見を出し合い話し合うものです。今回の計画訪問では、給食センターの老朽化や過酷な環境、学校やこども園の備品が不足していることなどがわかり早急に対応できる方法がないか話し合われました。

今回あがった要望をできる限り今年度中に解決できるよう、取り組んでいきたいと思ひます。





◆北霊之塔◆ 所在地：大兼久（大兼久の墓地内）
1958（昭和33）年建立
「北霊の塔」命名は平良泉幸氏。書入れから彫り方はトラパーチン彫りの名人の手による。毎年慰霊の日には区の慰霊祭が行われ、子供達に向けた語り部による講話も行われている。
※祖国復帰記念碑（1977年）と隣接



◆慰霊塔◆ 所在地：上原 1960（昭和35）年建立
上原出身の戦没者が刻銘されている。昭和35年に公民館を見下ろす小高い場所に建立された。毎年6月28日の慰霊の日には、区の慰霊祭が行われ、区民と遺族で戦没者の御霊を慰める。
周辺には、護郷隊で散った69名の戦友を偲ぶ69本の桜が瑞慶山氏によって植えられている。



◆慰霊塔◆ 所在地：大保 1960年建立
お宮に慰霊碑が建立されている。「大保誌」によると、真喜志康勝氏の寄贈で、集落の腰当（クサティ）にあるお宮に、第二次世界大戦戦没者慰霊碑が建立された。慰霊碑の裏面には29名が刻銘されている。



◆歌碑◆ 喜如嘉（改善センター内）2012年建立
「心篤き 人ら住めりとこの岸に 導かれけむ 兄がからかも」激戦が続く昭和20年4月7日、喜如嘉の浜辺に漂着した特攻隊寺内少佐の遺体を、人々が手厚く葬り慰霊碑を建立した事が縁で交流が始まり、実妹の歌人浅野綾子が詠んだ歌の碑である。傍らには海辺にあった慰霊碑も移設されている。

◆塩屋軍人墓◆
所在地：塩屋
大正11年12月建立
塩屋のウフンチャ（大土）内に建立され、正面には「故陸軍歩兵上等兵■■島袋巳之吉之墓」、側面には「大正十一年十二月建之字有志並びに塩屋班」裏面には「明治三十二年九月一日享 省首山〇二於イテ戦死」と刻銘されている。



◆喜如嘉軍人墓◆
所在地：喜如嘉
火葬場入り口付近に建立されている。昭和13年10月9日中支松樹熊にて戦死した故前田幸次氏の墓碑。表面には「故陸軍軸重兵勲八等功7級前田幸次君之墓」と刻まれている。



村史編さんだより

第111号 2020年7月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

「慰霊の日」6月23日・・・1974（昭和49）年10月に県条例により制定された沖縄独自の祭日です。沖縄は第二次世界大戦において一般住民を巻き込んだ悲惨な戦場となりました。わが大宜味村では1,000名余もの尊い命が犠牲になりましたが、その事実も年ごとに忘れ去られようとしています。“戦争を知らない世代”が繋いでゆく未来に、二度と戦争の歴史が刻まれないよう、私達は碑に刻まれた一人ひとりのかけがえのない命に思いを馳せ、過去の歴史から学び続けていかなければならない。



大宜味村の慰霊碑・軍人墓



礎抱ち産し子
ふとこころに入りら
たんだり元婆
もどてたばり
富原マツ（大兼久）
仲縄戦終結五〇周年
記念琉歌大賞

◆靈魂之塔◆ 所在地：大兼久 正10年12月忠魂碑として建立：（平成7年戦没者刻銘板改修）
◆沖縄戦終結50周年記念碑（左下）◆ 平成10年6月23日建立
「大宜味村史」（資料編423p）によると大正10年2月25日の村会（※現在の議会）覚手帳には「村会にて新事業として役場敷地購入費870円、忠魂碑建設費200円」とあり、在郷軍人が中心になって建立されたという。
「忠魂碑」は、天皇に忠節忠義を尽くして戦死した者の忠君愛国の魂を慰め顕彰するために建立した慰霊碑の総称で、各市町村に競って建立された。戦後は軍国のシンボルとしてほとんどが破壊されたが、大宜味村は昭和33年、「忠魂碑」を裏返して「靈魂之塔」として再利用している。「大宜味村史」が発刊された昭和54年当時は大東亜戦争の戦没者として777名が記載されていた。援護法によって準軍属の扱いを受けている戦死者は437名となっている。しかし、6歳未満と戦後の病死者は含まれておらず、すべてを総合すると千数百人にのぼり、それは優に村在籍人口の1割を超えることになる。平成7年8月太平洋戦争終戦50周年に戦没者刻銘板を改修。平成7年の改修で1,468名（内15戦争戦没者は1,462名）の戦没者名が刻まれている。ちなみに「平和の礎」（糸満市の平和祈念公園内）刻銘者数 令和2年6月現在 大宜味村出身者は1,480名である。

◆慰霊塔◆ 所在地：塩屋 建立年：不明
◆忠魂碑◆ 1923（大正12）年建立
中之山公園と刻銘のある入り口から100段の階段を登ると鳥居があり、突き当たり左手から建設碑、お宮、忠魂碑、慰霊塔と並ぶ。役場忠魂碑と並び一つの村に忠魂碑が二基あるのは、塩屋に番所があったことと関係しているという。



「しまふとうば」ぬくとう 54



今年は世界中が新型コロナウイルスに振り回されている。

2月以降様々な行事等が中止や延期になったりしている。行事等の重要度は個人や団体によって異なるのだが、中止になったからといって生活に支障があるとか、不便さを感じていない、と感じている人が案外多いのではないかと思ったりする。逆に行事によっては中止になってホットしたということもあるのではないかと思う。

新型コロナウイルスの影響下での現在の社会生活は、あたりまえでない、或いは非日常だと言われたりするが、あたりまえでない生活に慣れる、或いはあたりまえでない生活について少し深く考えてみると、これまでの当たり前の生活、日常が逆にあたりまえでない、非日常ではなかったのか？と考えたりもする。仕事面で考えると、その間、多くの場所での多くの会議等が中止になったのだが、中止になったからといって動きが止まった訳でもなく、支障をきたしていることもないのである。

新型コロナウイルスの影響で大変な思いをしているわけであるが、これまでの“あたりまえ”が“あたりまえでない”という生活の変化を考えた場合に、新しい生活様式を取り入れると同時に、前例踏襲的な不必要なものはそぎ取っていくチャンスでもあるのではないかと考えたりもする。

案外にコロナ前があたりまえでなかったのかも知れない。はめな一な一。

～・～ ウミガメ情報 ～・～

NO	海岸名	上陸・産卵日	脱出(ふ化) 予想日数	脱出(ふ化) 予想月日	種類
1	津波ガタ	4月26日	産卵無し		アカ
2	根路銘	4月26日	70±5	7月5日	アカ
3	喜如嘉	5月18日	63±4	7月20日	アカ
4	饒波	5月23日	産卵無し		アカ
5	大宜味	5月23日	62±4	7月24日	アカ
6	根路銘	5月26日	62±4	7月27日	アカ
7	根路銘	6月1日	60±3	7月31日	アカ
8	塩屋	6月7日	57±3	8月3日	アカ
9	喜如嘉	6月12日	55±3	8月6日	アカ
10	塩屋	6月19日	52±3	8月10日	アカ



大宜味村育英会へ

字塩屋 島袋 義久 様

10万円

令和2年6月25日寄付

今月の生きもの



アシヒダナメクジ：アシヒダナメクジ科

おはようございます。アシヒダナメクジです。えっ？よく見かけるけど初めて名前を知ったって！？そうか、そうですよね…。

殻のない巻貝だからナメクジって名前が付けられたけど、ナメクジとは違う仲間なんです。どちらかと言えば、海にいるイソアワモ千の仲間に近いかな？でも、私は食べられませんのでご注意ください！！私の中には広東住血線虫という寄生虫がいます。食べるのはもちろんダメだし、触った後は必ず手を洗ってね。

7月の行事予定

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1日(水) 区長会・夢語る講演会(小) | 23日(木) 海の日 |
| 2日(木) 地域教育懇談会 | 7月30日 24日(金) スポーツの日 |
| 7日(火) 七夕 | 25日(土) 国頭地区ミニバス交歓会 ~ 26日 |
| 17日(金) 少年を守る日 | 村体協ゴルフ大会 |
| 18日(土) おきなわ地域教育の日 | プロレス記念日 30日(木) 定例教育委員会議 |
| 19日(日) 家庭の日・ファミリー読書 | 31日(金) 1学期終業式(園・小・中) |